

北海道「ぬまたまると」フェア

名古屋市と札幌市で開催されました ^{2/}18.23

沼田町の食や農業の魅力を広く知ってもらため沼田町観光協会（吉住淳男会長）による「北海道ぬまたまるとフェア」が昨年の11月の東京に続き、名古屋市と札幌市で沼田に縁のある企業や関係者、ふるさと納税の寄付者の方などを招き開催されました。

名古屋市では2月18日（木）に市内の「ナディアパーク」で、沼田町の特産品の販売が行われ多くの方がトマトジュースやトマトケチャップ等を購入されていました。

また、夕方からは沼田に縁のある企業や関係者を招待し、交流パーティも開催されました。交流パーティでは町の特産品を使った創作料理やトマトジュースが振る舞われる、和やかな雰囲気の中で開催されました。会場では新規就農につなげようと北竜地区で農業を営んでいる平泉さんや、旭穂地区の姜さんご夫婦、（有）ウィングの鶴野さんが沼田町の魅力についてPRも行っていました。

札幌市では2月23日（火）に「ホテルポールスター」で開催され、物産展では雪中米やトマトジュースに加え町内企業の（株）正和が新たな事業展開として行っている植物工場「ショウワグリーンファーム」が栽培するレタスも販売され、多くのお客さんが足を止めて品定めをしていました。

夕方から開催された交流会では雪中米のおにぎりやトマトケチャップを使った料理などを約180名の出席者が立食形式で楽しみました。また、おばあ様が町内に住んでいたことがあり、小学生の夏休みには沼田町に遊びに来ていたという大食い女王の「アンジェラ佐藤」さんが、アトラクションとして雪中米で作った俵おにぎりの大食に挑戦されました。最後に新規就農のPR映像が会場で放送され、金平町長と吉住会長により参加者に沼田町の魅力についてPRを行いました。



▲名古屋会場での特産品販売の様子



▲名古屋で開催された交流パーティで挨拶する鶴野さん（右）と平泉さん（中央）、姜さんご夫婦



▲札幌会場の物産展と交流会の様子



▲雪中米おにぎりを食べるアンジェラ佐藤さん

大型滑り台が登場

輝け雪のまちフェスタ2016開催 ^{2/}14

2月14日（日）雨竜川総合運動公園パークゴルフ場駐車場で「輝け雪のまちフェスタ2016」（同実行委員会主催）が開催されました。

当日はあいにくの空模様でしたが、会場に設置された大型滑り台や、雪中パークゴルフのコースを集まった子供は楽しそうに遊んでいました。

会場の屋台では100円カレーや、雪ん子焼き、ホットドッグなども販売されて人気を集めていました。



▲沢山の子どもたちで賑わいました

地域貢献活動として

各種団体が除雪ボランティアを実施 ^{2/}15.17

各種団体が高齢者住宅の除雪ボランティアに汗を流しました。地域貢献の一環として毎年実施され、2月15日（月）には沼田技能協会（関根徳昭会長）が旭町の高齢者住宅を、17日（水）には札幌建設管理部所管の沼田奔川砂防工事を実施している奈井江町の(株)櫻井千田（櫻井雅聖代表取締役社長）により5町内の高齢者宅の屋根雪下ろしのボランティアを実施していただきました。住宅に入居している方は、「雪がなくなり家の中も明るくなりました。本当に助かります」と感謝していました。



▲沼田技能協会の皆さん



▲(株)櫻井千田の皆さん

東日本大震災復興支援

第4回チャリティーおんがくの集い ^{2/28}

2月28日（日）町民会館で「東日本大震災復興支援第4回チャリティーおんがくの集い」（市橋静代実行委員長）が同実行委員会の主催により開催されました。

音楽を通じて東日本大震災の復興を支援しようと、今回4回目の開催となるおんがくの集いでは、沼田保育園の園児による太鼓の演奏や農家の女性団体によるファッションショーや、沼田吹ガールズによる演奏などが行われ、会場に訪れた約250名は盛り上がるステージに釘付けになっていました。

なお、この日の収益はコンサート経費を差し引いて、全て学生ボランティア団体「みちのくキッズ※」へ寄付されました。

※東日本大震災の影響を受けて札幌に来た子どもたちを迎え入れ、札幌をスタート地点だけではなく、子どもたちがいつでも帰ってこられる「ホーム」にすることを目的に活動している学生団体。



▲出演者皆さん、趣向を凝らしたステージとなりました



38年の歴史に幕

沼田幼稚園閉園式 ^{2/27}

2月27日（土）今年度限りで閉園となる町立沼田幼稚園（本庄修園長）の閉園式が教職員や園児、父母が出席する中行われました。

沼田幼稚園は昭和53年の開園から本年まで1,648名の園児たちの幼児教育を担ってきましたが、4月から幼児教育と保育機能を併せ持つ認定こども園が開設されることに伴い、38年の歴史に幕を下ろします。

閉園式では金平町長が「多くの子どもたちがこの幼稚園で学び、たくましく成長していきました。閉園は忍びないが、新しいこども園で全ての子どもたちが心身ともに健やかに育ってほしい」と式辞を述べました。お別れの言葉と歌を園児が披露し、最後に本庄園長から金平町長に園旗が返納されました。



▲本庄園長から園旗を受け取る金平町長

地域と交流親睦を深め

沼田分屯地との新年交流会開催 ^{2/29}



▲挨拶する島原司令

2月29日（月）ほろしん温泉ほたる館で沼田自衛隊との新年交流会が自衛隊協力会（金平嘉則会長）・自衛隊施設拡充推進期成会（吉住淳男会長）の共催により開催されました。

沼田自衛隊の島原司令から「地域の皆さんの協力があったの沼田自衛隊。あんどん祭りや地域行事に積極的に参加していきたい」と挨拶がありました。

交流会には約70名が参加し、終始和やかな雰囲気の中で開催されました。

沼田の地域を盛り上げて

地域おこし協力隊に委嘱状の交付 ^{3/1}



▲委嘱状を受け取る岡本さん

3月1日（火）地域おこし協力隊への委嘱状の交付が行われました。

8人目の委嘱を受けたのは東京都出身の岡本安正さんで、2年後の新規就農に向け町内で農業支援を行いながら農業実習を行っていきます。

寄付



▲市橋実行委員長（左）と実行委員の菅原さん

おんがくの集い実行委員会 からご寄付

3月2日（水）おんがくの集い実行委員会の市橋静代実行委員長が町長室を訪れ、2月28日（日）に開催されたチャリティーコンサート会場で出していたフリーマーケットなどの収益金2万397円を「ふるさとづくり基金」へご寄付いただきました。

表彰



▲感謝状を受け取る平木さん（中央）と山本さん（左）

国勢調査統計局長表彰

2月29日（月）町長室において、国勢調査統計局長表彰の贈呈が行われました。

国勢調査員を3回以上努めていただいた方に贈られる表彰で、今回は7名の方が対象となり感謝状が贈呈されました。

なお、今回受賞された方は斉藤幸枝さん、谷口真弓さん、田中聡さん、田中康江さん、平木昭良さん、平木恵子さん、山本和夫さんです。

沼田町監査委員より 定期監査の報告

去る、2月8日から10日までの3日間、沼田町監査委員による、沼田町会計の定期監査を行いました。

これは、地方自治法第199条の規定より、沼田町のお金が住民のために最小の経費で最大の効果を挙げよう効率的に使われているかなどを監査するもので、更に各課（各委員会）の事務・事業の執行状況についても併せて監査したものです。

結果、12月末現在におきまして平成27年度の事業執行及び財務事務等全般について、適正に執行されていることを報告させて頂きます。

沼田町監査委員 金子幸保
鵜野範之

雛祭りに合わせて

とっておき豆工房から桜餅のプレゼント

3/3

3月3日（木）ひな祭りのこの日、特別養護老人ホーム旭寿園（谷口勲園長）と養護老人ホーム和風園（安念昌典園長）に桜餅のプレゼントが届けられました。

とっておき豆工房（横山喜代子代表）のメンバーが毎年、ひな祭りに合わせて入所者の皆さんに食べてもらいたいとプレゼントしているもので、今年も両園に130個の桜餅のプレゼントをいただき谷口園長も「毎年皆さん楽しみにしています、ありがとうございます。」とお礼を述べると、横山代表は「毎年の行事、皆さんに食べていただければ私たちもうれしい」とお話されていました。



▲桜餅を渡す「とっておき豆工房」の皆さん

沼田には貴重な化石が沢山

鯨博士二人会 in 沼田開催

3/4



▲講演を行う蔡博士

3月4日（金）ゆめつくるホールで「鯨博士二人会」が開催されました。

国立科学博物館の蔡政修（ツアイチェンシュウ）博士が鯨の分類や進化について講演を行いました。また、田中学芸員も沼田の新しい化石研究について発表を行い、参加者からは昔のヒゲクジラの食べ物や現代のシロナガスクジラの生息数などについて質問が行われました。

早い雪解けのために

渡部建設（株）が雪割りボランティア

3/7



▲重機を使った雪割り作業を行っていただきました

3月7日（月）渡部建設（株）（渡部稔代表取締役）が重機による小中学校グラウンドの雪割り作業をして下さいました。

この作業は同社が例年、地域貢献活動の一環として取り組んで下さっているもので、今年は雪が多く降雪累計は10mを超えていましたが、この雪割り作業によって雪解けも進み、子ども達の体育授業や部活動、外遊びも早く行うことができます。